

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩はテネシー工科大学でこんな授業を受けています！

Tennessee Tech University(アメリカ・テネシー州) | 2024 年・2025 年秋派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、テネシー工科大学へ派遣された 5 名の先輩の留学レポートから、履修した全科目を授業内容・先輩のリアルな感想とともにご紹介します。

経済学、マーケティング、犯罪学、宗教学、コミュニケーション学、教育学、心理学、ジャーナリズム、音楽、演劇、スペイン語、バレーボール——「工科大学」という名前ですが、文系科目やスポーツ・芸術系まで驚くほど幅広い科目から選べるのがテネシー工科大学の魅力です。留学生向けの英語クラス(ESL1010)で単位を取りながらアカデミック英語を鍛えられるのも安心ポイントです。

◆ 先輩レポート 1 1 年間で 9 科目！幅広く学んだ先輩の履修科目

在籍：青山学院大学 経済学部 経済学科(3 年・2025 年秋派遣) | 経済学を軸に、心理学、芸術、地学、金融まで履修

— 秋学期 —

ECON2010 Principles of Microeconomics (3 単位)	
履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	100 人ほど(ほとんど現地生)
評価方法	クイズ 10%、ライティング課題 15%、グループ活動 15%、中間試験 2 回 40%、期末試験 20%
どんな授業？	ミクロ経済学を学びます。中央値の求め方など数学の基礎も扱います。スライドがたくさん配布されるので勉強しやすい授業です。
先輩の声	グループワークでコミュニケーションがスムーズに取れなかったことが悔しかったですが、メンバーみんなが優しく接してくれたので安心して課題に取り組みました。授業外で同じ授業の人に会々と話が弾んで楽しかったです。

SOC1010 Introduction to Sociology (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	100 人ほど
評価方法	試験 4 回 60%、クイズ・クラス活動 40%
どんな授業？	社会にはどのような偏見や差別があるのか、それらがどのようにして生まれたのかを学びます。
先輩の声	専攻外のクラスについていけるか不安でしたが、スライドを沢山配布してくださったのでついていけました。試験では 4×6 インチのノートカードを持ち込めたので安心して受けられました。

ESL1010 English as a Second Language (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	少人数セミナー
クラス規模	8 人(日本、韓国、ブラジルなどほぼ全員違う国籍)
評価方法	出席 10%、エッセイ 30%、プレゼンテーション 40%、宿題 20%
どんな授業？	留学生向けの英語クラス。エッセイの書き方や、プレゼンテーションでの効果的な話し方を学びます。
先輩の声	プレゼンテーションのスライド作成が大変でしたが、ほとんどの時間は楽しく授業を受けることができました。このクラスを選んで良かったと思います。

PSY1030 Introduction to Psychology (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	200 人ほど
評価方法	試験 2 回、出席、エクストラポイントなど
どんな授業？	睡眠が人間に与える影響、心理学の歴史、メンタルヘルスなどを学びます。実際に生徒が実験に参加することもあります。
先輩の声	スライドを利用して授業が行われるので、教授の話すスピードが早くても内容についていけました。初めての授業で友達を作ることができ、実験に参加する回は楽しかったです。

THEA1030 Introduction to Theater (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	100 人ほど
評価方法	ストーリーテリング、シェイクスピア・ソネット課題、中間エッセイ、観劇レビュー4 本、モノログ発表、期末エッセイ
どんな授業？	劇とはどういったものか、劇を素晴らしいものにするための要素を学びます。映像鑑賞に加え、実際の舞台を観てレビューを書く課題もあります。
先輩の声	知らない世界だったのでとても楽しかったです。モノログを発表する際はとても緊張しましたが、発表後に教授が褒めてくださり、生徒の皆さんからの拍手もあってとても達成感がありました。

— 春学期 —

GEOL1045 Earth, Environmental Resources & Society (4 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー＋ラボ
クラス規模	100 人ほど
評価方法	テスト 2 回、ラボの成績
どんな授業？	地学に関する内容を幅広く学びます。地震の回では日本が紹介されました。
先輩の声	授業は楽しかったです。先生が持ってきた石を実際に触ることができました。テスト前に配布される Study Guide の量が多く、覚えるのは大変でした。

ART1035 Introduction to Art (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	30 人ほど
評価方法	テスト 3 回(半分以上が選択問題、エッセイ問題もあり)
どんな授業？	世界各国の芸術の歴史を学びます。葛飾北斎やアイ・ウェイウェイなども扱います。
先輩の声	今まで芸術に関する授業は受けたことがなかったため、面白かったです。

ECON2020 Principles of Macroeconomics (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	40 人ほど
評価方法	テスト 3 回(全て選択問題)、グループ課題
どんな授業？	市場全体がどのような動きをするかを学びます。ミクロ経済学の復習も行います。
先輩の声	テスト範囲が広いので苦労しましたが、グループワークではみんなで話し合ったりして楽しかったです。

FIN2000 Personal Finance (3 単位)	
履修した先輩	青山学院大学 経済学部 経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	40 人ほど
評価方法	テスト 3 回、ポートフォリオ
どんな授業？	予算の管理の仕方、投資の基礎知識、保険について学びます。銀行についてのゲストスピーカー回もあります。
先輩の声	計算問題の理解とテスト範囲の広さに苦労しましたが、予算の管理の仕方を学べたので非常に自分のためになりました。

◆先輩レポート 2 マーケティングを本場で学んだ先輩の履修科目(秋学期)

在籍:青山学院大学 経営学部 マーケティング学科(3年・2025年秋派遣) | 専攻のマーケティングに加え、スペイン語にも挑戦

ESL1010 English as a Second Language (3単位)

履修した先輩	青山学院大学 経営学部 マーケティング学科の先輩
授業形式	プレゼンテーション・エッセイ中心
クラス規模	8人(日本、韓国、アフリカ、香港)
評価方法	プレゼンテーション 15%、ナラティブエッセイ 20%、インフォーマティブプレゼン 30%、因果関係エッセイ 15%、最終課題 10%など
どんな授業?	留学生向けの英語クラス。いろんな国から来た人と学ぶので、お互いの文化を教え合い、視野が広がります。
先輩の声	クラスメート全員が英語が第一言語ではないので、会話をスムーズにとるのが難しいこともありました。しかし、自分の国についてプレゼンしたりエッセイを書いたり、負担が大きいわけでもなかったので楽しく学べました。

SPAN1010 Elementary Spanish I (3単位)

履修した先輩	青山学院大学 経営学部 マーケティング学科の先輩
授業形式	レクチャー(週3回)
クラス規模	18人(留学生は自分のみ)
評価方法	出席・参加 15%、Web教科書の宿題 20%、スペイン語作文 10%、先生との1対1のスペイン語インタビュー5%、章末試験 30%、期末試験 20%
どんな授業?	スペイン語の基礎と、スペイン語が公用語の国の文化について学びます。
先輩の声	現地の子は中学・高校でスペイン語を習っていて少しできる子が多く、最初はついていくのが大変でした。ただ授業が週3回あり、授業内で話す機会が多いのでスペイン語が身につきます。

MKT3400 Principles of Marketing (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経営学部 マーケティング学科の先輩
授業形式	レクチャー・プレゼンテーション・グループワーク
クラス規模	留学生はスウェーデン人と自分のみ
評価方法	試験 5 回 + 期末試験、グループプロジェクトのプレゼンテーション 3 回
どんな授業？	前半でマーケティングの基礎(広告の作り方、4P など)を学び、後半はそれを活かした課題にチームで取り組み発表します。
先輩の声	授業のほとんどがグループワークなので、最初はチームの話し合いについていけないこともありました。みんなで製品を選んで一つの広告を作ってプレゼンをしたりと、常にチームと話し合う授業で、個人的には楽しめました。

BMGT3630 Human Resource Management (3 単位)

履修した先輩	青山学院大学 経営学部 マーケティング学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	セクションごとの試験(半分が選択問題、半分が記述式)
どんな授業？	人的資源管理(採用・育成・評価など、企業の「人」に関わるマネジメント)を学びます。
先輩の声	教授の話を聞く時間がほとんどの授業でした。試験は半分が選択問題で残り半分は自分の意見を書く筆記だったので、慣れるまでは良い点数を取るのに苦戦しました。

◆ 先輩レポート 3 犯罪学から宗教学まで、アメリカ社会を深掘りした先輩の履修科目

在籍：成蹊大学 文学部 国際文化学科(3 年・2024 年派遣) | 犯罪学、アフリカ系アメリカ人史、ソーシャルワークを履修

CJ2660 Criminology (3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 文学部 国際文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	課題 6 回、ケースファイル 5 回、中間試験、期末レポート、期末試験
どんな授業？	犯罪のタイプや、どのような人格の人が犯罪を犯しやすいのかを学びます。実際のアメリカの事件を取り上げた課題や、犯罪統計を使った分析もあります。
先輩の声	エッセイがとにかく多くて大変だった。アメリカの事件を取り扱う回もありとても興味深かった。教授の研究室に行ってアメリカの犯罪について話したのは貴重な経験だった。

HIST2060 African American History (3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 文学部 国際文化学科の先輩
授業形式	ゼミ形式(受講生 3 人！)
評価方法	毎回のディスカッション、課題など
どんな授業？	奴隷制がどのような過程で形成され、どのようなコミュニティが作られたのか、奴隷解放宣言後の公民権運動までを学びます。他州の黒人大学を訪問するフィールドワークもあります。
先輩の声	受講生が 3 人しかおらず、ほぼ毎回ディスカッション。ついていくのが大変で、毎回録音して、わからない部分は先生の研究室でわかるまで質問しに行った。それが自分の自信につながったと思う。

RELS2010 Introduction to Religion Studies (3 単位)

履修した先輩	成蹊大学 文学部 国際文化学科の先輩
授業形式	ディスカッション
評価方法	クイズ、テスト、授業態度、レポート
どんな授業？	三大宗教を中心に様々な宗教の基本を学びます。現代の宗教問題やイスラエル・パレスチナ問題など時事問題も扱います。
先輩の声	毎回ディスカッションがあり、アメリカ人の早い英語についていくのが大変だった。生徒がよく発言する、日本とかなり違う授業スタイルでとても面白かった。教会を訪れてレポートを書く課題もあった。

SW2020 Human Behavior & Social Work (3 単位)

履修した先輩	成蹊大学 文学部 国際文化学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	エッセイ課題 6 本ほど、出席率
どんな授業？	人と社会がどのようにつながっているのか、その相互関係を社会学の視点から考えます。組織の運営と個人の関係性も扱います。
先輩の声	エッセイがたくさんあり苦労した。しかし、授業後に教授と日本とアメリカの会社制度の違いについて議論したのはとても良い思い出。アメリカの事情を聴けて興味深かった。

◆先輩レポート 4 教育×テクノロジーを学んだ先輩の履修科目

在籍：獨協大学 国際教養学部 言語文化学科(3 年・2024 年派遣) | 教育学、心理学、コミュニケーション学を履修

ESL1010 English as a Second Language (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 国際教養学部 言語文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・セミナー
評価方法	出席 30%、エッセイ 2 回 30%、プレゼンテーション 3 回 30%、課題・語彙 10%
どんな授業？	エッセイの書き方、プレゼンテーションの作成・発表方法、語彙や文法を学びます。
先輩の声	限られた時間でプレゼンを仕上げるのに初めは苦労した。しかし回数を重ねるごとに自分なりのやり方や練習方法が身につき、最終的には緊張も含めて楽しむことができた。1 学期間向き合い続けたことで英語力の伸びも感じられた。

COMM1020 Survey of Communication Studies (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 国際教養学部 言語文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・セミナー・グループワーク・ケーススタディ(ハイブリッド形式)
評価方法	レポート、期末レポート、クイズ 4 回、出席
どんな授業？	対人コミュニケーション、小グループ、組織、コンピュータを介したコミュニケーションなど、様々なコミュニケーションの形とその詳細な知識を学びます。
先輩の声	初めは授業内容が 2 割ほどしか理解できず不安だったが、予習と復習で徐々に理解できるように。グループワークがメインなので、周りの生徒に聞いて助けをもらいながら理解を深めることができた。

FOED2050 Education and Technology (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 国際教養学部 言語文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・セミナー・グループワーク・ケーススタディ
評価方法	マルチメディアプレゼン、ウェブサイト制作、授業計画、現職教師へのインタビュー、グループプレゼンなど多数の課題＋出席
どんな授業？	テクノロジーを用いた教育方法や、教師として持つべき視点・評価方法などを学びます。ウェブサイト制作や教師インタビューなど実践的な課題が豊富です。
先輩の声	テクノロジーを軸として教育を学ぶのは初めてで、単語や扱い方の理解に苦労した。しかし別の側面から教育を捉え考えられたことは大きな学びになった。多様な評価課題のどれにも積極的に取り組めたことが良かった。

PSY2210 Educational Psychology (3 単位)

履修した先輩	獨協大学 国際教養学部 言語文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・セミナー・グループワーク(ハイブリッド形式)
評価方法	章末クイズ、グループミーティング、プレゼンテーション、クリティカルシンキングレポート、自己分析レポートなど
どんな授業？	教育を心理学的な側面から考えます。生徒のモチベーションの持たせ方や、心理的な要因が学習にどう影響し、どう促進・改善できるのかを学びます。
先輩の声	プレゼンは準備段階から自分たちで連絡を取り合い、一から組み立てる必要があり苦労した。グループに助けをもらいながら自分の役割を全うすることができた。

◆先輩レポート 5 メディア・音楽・ライティングを学んだ先輩の履修科目

在籍：東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部(3年・2024年派遣) | ジャーナリズム、音楽、英語ライティングを履修

JOUR1110 Media and Social Institutions (3単位)

履修した先輩	東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部の先輩
授業形式	対面授業(後半はディスカッション中心)
評価方法	インタビュー動画、新聞記事、エッセイ、授業参加度
どんな授業？	ジャーナリストの仕事やその困難について学びます。実際に働くジャーナリストのゲストスピーカー回が3回あり、現場の貴重な話を聞けます。
先輩の声	課題では大学の生徒や先生にインタビューを行い、動画編集をして、新聞のような記事を作成しました。最初は難しく時間がかかりましたが、慣れると効率的にこなせるように。インタビューを通じて多くの方々と交流でき、貴重な経験となりました。

ESL1010 English as a Second Language (3単位)

履修した先輩	東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部の先輩
授業形式	対面授業
評価方法	エッセイ4回、プレゼンテーション2回、授業参加度
どんな授業？	基本的な英語の文法と、効果的なプレゼンテーションの仕方を学びます。先生が一人ひとりを指名して答えさせるスタイルです。
先輩の声	決められたトピックについてグループで話し合う活動が特に楽しかったです。留学生のクラスなので、それぞれの国の文化について話す機会も多く、さまざまな価値観に触れることができたのが印象的でした。

MUS1030 Music Appreciation (3単位)

履修した先輩	東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部の先輩
授業形式	対面授業
評価方法	オンライン教科書の問題、コンサートレポート、授業参加度
どんな授業？	音楽用語の基礎知識や西洋音楽について学びます。実際にコンサートを聴いてレポートを書く課題もあります。
先輩の声	オンライン教科書の課題は1つひとつ丁寧に調べながら進めたため時間はかかりましたが、作曲者や有名な曲についてしっかりと学ぶことができました。

ENGL1010 English Composition (3 単位)

履修した先輩	東洋学園大学 グローバルコミュニケーション学部の先輩
授業形式	対面授業
評価方法	エッセイ 4 回、インフォグラフィック制作、授業参加度
どんな授業？	MLA フォーマットに沿った適切なエッセイの書き方を学びます。引用の方法や参考文献の正しい書き方を理解し、実際のエッセイで活用します。
先輩の声	最初は引用や参考文献の書き方に戸惑いましたが、次第に慣れてスムーズに文章を作成できるようになりました。授業中に課題に取り組む時間があり、先生から直接アドバイスをもらったのがとても参考になりました。

先輩が感じた、アメリカの授業のここがすごい！

「授業に積極的に参加する生徒が多い。明らかに発言する生徒が日本と比べて多い。」

—— 2025 年秋派遣・青山学院大学(経済学部)の先輩

「学生の発言量が日本と比較して全然違う。生徒と教授が対等な関係で会話していて、すごく身になる授業を受けているなと感じる。」

—— 2025 年秋派遣・青山学院大学(経営学部)の先輩

「みんなが自分の意見を発言する機会が日本に比べて多いと感じた。授業中に意欲的に質問をしている生徒が多数いて、全体的に日本の学生より意欲を持った学生が多いのではないかと感じた。」

—— 2024 年派遣・成蹊大学の先輩

「日本とアメリカの授業を比べて最も違うと感じた点は、意欲の部分だ。意見を発表する際はためらいも恥ずかしさもなく、ただ自分の考えを共有したいから意見を言う、というような雰囲気。時には、先生がほとんど話すことなく生徒同士の意見が飛び交って授業が終わったこともあり、すごいと感じた。」

—— 2024 年派遣・獨協大学の先輩

「日本の授業に比べて考えを発表する機会が多かった。生徒たちは積極的に自分の考えを発表し、授業に参加しているという印象を受けました。」

—— 2024 年派遣・東洋学園大学の先輩

※ 本ページの内容は 2024 年・2025 年秋派遣生の留学レポートに基づいています(先輩レポート 2 は秋学期終了時点の内容です)。開講科目・評価方法は年度により変わる場合があります。